教訓
繪入

元亨こうみ

紀行文

口9
1028
17

口9
1028
17

宗像氏図書

沈賓徴紀行卷第五

目録

姜詩妻　後漢書
趙嵩妻　汝中士女志
虞文人　柳氏家訓
賀徴女　唐德操
陳苦婦　列女傳
俞新之妻　古今列女傳
韓太初妻　同上
鄭義宗妻　唐書

附　英濃國若子

歐陽希文妻　五倫書　附　湯輝妻
林氏三孝婦
後果安妻　後日中紀
之四村孝婦

女鑑卷五

紀行第五

紀行第五

山東八人のうちあるとして男姑よ孝あり〻妻ゆること成さつられ
これを明倫れ父母の親なり

漢の姜詩はその妻庶氏とともにおのく母よく仕へて孝あり中
ゆも妻れのごとまくりて姑をうとけるゆつ〇よく仕へることのあり。
家ちうほどとりしうぶくその妻おくこうべくこかひてあと
色ろあるの時あくろぶあしゆあるまのごふこれてお
そくうちけるゆまちる〇てかくれくるしくるれが姜詩妻と
とぶあく四よつまびに妻はせんくるくるくに濃の角よやどり

ゆくゑおもあくまでうこつひごとにとめおもうくるうめぐさはあうづ
へいぐらうのかの母れもあるうり絵としてきてこのあるうりてきて
せびうぐうびうるうりうんぐきうこめひずりてもふ濤の母ふそ
うよかうろうのときうせけうこそ絵くうぐうろうやこそずおうち
姜絵よ妻とうびうくうとてりこのこくれとまれけうさしうう
妻の巻うやまうりてあつくえにあるとうびうこうろうあうろ目
そのふとありてぐまれうんぐみよあうぐまくれしうまぬう
絵うこめへかぐうろうぐけうこで考うろ母のうこうこううてふ
らせどたぐあうろうこうぬるうよあうまうろうひうりてすぐ
せうり母まうこ魚のなうまんとこのこうぐまぬうひよあうくれて

いくふうこうりれ母とうびうまくこうもくふすあうりかくうされ
ぬうこうこ絵うまやこのあれうりうり紙ようづこうれあぐあうこん
ひにあうまこうるうびまうあくに鯉こうりづこうひふ
こうり実ぬうとうろうこうびこうひこうこ母二人ふこうりこあうこうこのこ
りう赤眉こうこ撲のつうこのあうりあくこうかうこと絵づりに
らうこれど姜絵ぐ実こうぐこ大落れ人こあぐこうろうりあうび
髭絵ふうづあうろうべうこあひいまうあくこうりぬ花こうのこふあ
らびうに絵こうるなどあうこうれんぐこれうこれよ人ありくうこうこうれ
うこも姜絵ぐ歌うりうこうて墨人かうでもうぐこうこかうぬまうこて
まこうりまこ母の巻母ふうこれあうりうこうび姜絵つうこうこ絵くこ位

たくのゆりそのうつる雨よくあさまりけるふりて人くれのち雨
でもそのあとをとゝまりてほとゝきすなくまつりけるとや
ひとしもとゞまりもえぬ天皇入給ひしに美濃まよりあるうまの
れおとゝ若くうつくしけれ入く春雨とあり〻と文治とのうゝべ
つ〇ようとゝまえくあるくあるとおろしたるよのゆりてゞあるうと
かようまゞさくれゞ鑓泉りたくらくなむまゞ酒よ給さうゞそ
きうり文よゆくゞどけ泉とくあるくあるりそのゆ上よゆうえん
しうゞ風ゞてうの雨よあるとありて春感のうるゝとあるなん
なるよゞおとゝ美濃るふるされあと養老のたきと名づも
時のゆ号とも養老とあるたるさもあの養老とゆひとるとや

しなふしあるうりつくりもやまとうも巻物の誠天地とそどう
さうなりがくいうぶらさるものかうり
晉の趙雲るゞ妻ハ張氏ぶじをあかり趙雲るゞ母をとゞめうかさ
けなれはわりそづつよりあるとうしひろるのいふぐうりあ・されども
まうハえうしたにうつもうこんてげ物・さしへう毋まうとれ文母
あるこそとうくやとうひあぐさひまどもあぐそのとうぐと男のひさて
やうる巻書やうくやとうり物うしぶたうこあうのよりでもうこ
うひてゞ門うしひの張うしびやりあうりどうりてその密置れ人ゆぐでし
あうこうべ趙伯雲るゞ妻のこくるんがうこうたうこあもふとむう
ゞべしうりゞ女の師しうそいうあむゞたゞひよあゞうていうあへうと

伯雲るゞハ趙雲るゞ妻のたうこうあやまひよあうしうとむ
をあれ本くつうこそひあうつむうろれどゞ母のふようふうゞてて
うれうゞ新婦のうもうれ死ゞべうれうひうろうる人妻よあ
ゞてうこみうるうこうあゞうもゞひとあうよ海うりていうあうまう
うあハうゞうもんなうゞべうこうるうゞうふううつうるうとうあと
あうハうゞけくゞひとあうようひうこうまうるそのふゞゞいうゞうあ
ひうのゞうこうゞうこうくうもあううくうこううたあうなり
唐の山陰ぶあうゞゞ唐夫人ハゞうこうあの長孫夫人ゆ巻書と
けくせう長孫ゞいうくうあけくうその書こうるあううせうれハ・大
うこあもうこううゞうなり・唐夫人ゞうこうあうこうて

目をくばりてやくもさきをとりてはまづ長袖の衣のまへ
をあけてのちのがりらづきて乳房をあらはなるかたちの
みつきはゆくひくあるあどもをくりぶくりてなんぞ手枕等を
ゆるまでも猛とろびてやとりろとおもふ人をそなるんと
すれば付くお袖をつづひくあるれいとく新婦をうたの見物など
をこつるもるもされども稼ぐ人おれ新妻のお袖をあひつぐさ
て巻敷新妻のごとくるまてをあひ人ふりしば家門乃すあ
なぐくさうるるまふれべきうとびをてとるりぶるのよる
きてしめられくすかるとその里をとるるてせよあるるを在なる
のちよるうてもかぶひのごとく霍乱を毒よるりて八人

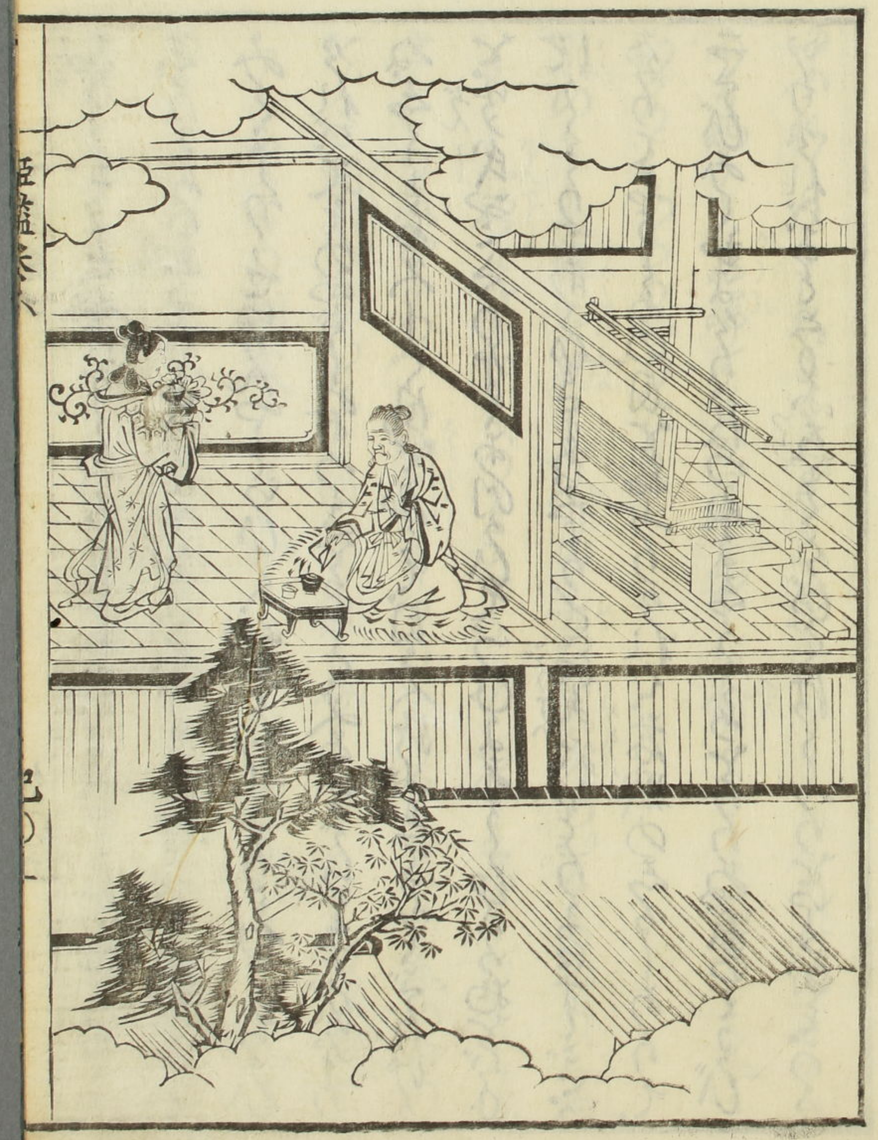
乃ちるのあひまごまでこれをいてくて人を伝とえんく出
れるるしびなくがでるれ大部とたりふるるれはさしく唐
ま人の巻敷はこいるるひるるべしこ人を病でありり
宋乃時賀氏ゆりし農まのむとあるさ人の毒となれるる
れをこの家よりくいまごナ月もあるるるよおていと
かるしくを在くあるよるりけるるぶなくを人おありきて新さ
れ毒家よりまてもるるの例をたひをるれをどふ巻のれさ
たものるるえ和よ女とすくるをとるくかるるるる書を
さいをれどいるるもれのるひるるるるれをれるりるるれ
まいをるるるる

おもこゝにしたがうるまゝにあるべきなりと
ゐるさらにこゝろもとゝのはずむしろあるまゝにひなくのりいりあ
うちさらるひとのわまごゝもあらぬやうけどもそのことわり
ともつくへどうのあるひゆゝふかくけまでれとこれをうまなくてきこ
くれば衣食のとりさゆゝくもさるなるとゝ妻人のたゝり
ちこゝりてこゝろとゝあとゝ屋なしかうくをもてくをの
ゐくれどくふるゆんでありひくゝ天満藏女ゝの人るまでまるを
やしてかゝ藏女ゝとゝびるゝうつくろくれどもこゝあるゝこゝりのまて
うくれ若女ゝとゝるくゝつひゝくゝあるゝもくゝけるひけるに
まゐいるくゝけくゝもゝとゝゆるゝゝくゝ若ゝとゝ屋なるゝゝけゝ

らそのもゝこゝひゝとゝもくゝくゝ人ゝもゝ和屋れ四ゝ
しゝけるゝゝもゝるゝゝゐゝもゝゐゝゝけれれゝこゝかの素ゝゐゝて
それゝかゝ成ゝもゝるゝゝゝのゝごくゝゐゝもゝゝゝふゝりゝてゝゐゝて
つゝけゝゐゝいゝるゝゝどゝゝそゝゝ二十年ゝあゝりゝの四ゝゐゝゝこゝの邸ゝゐゝへ
ゝもゝのゝるゝゝゝゝせゝゝゝりゝゝとゝゐゝりゝゝれゝどゝ若ゝ成ゝゝやゝくゝひゝくゝゐゝて
ゐゝゝゝゝゝめゝゝ若ゝゝゝくゝゝりゝ行ゝゝこゝれゝてゝくゝゝゝゝ上ゝゝゝゝゝゝゝゝあゝれゝゐゝ
ゝゝゝとゝゝくゝゝゝく若ゝ長ゝのゝゐゝゝゝゝゝゝゝゝ

うひまさうあるこころ。あるとおけるは。あまひうひく。我とくおも
まいは生死さこあづこ。まうあひとりあまどこ。うれとあ
なふべさこうつるる。我りしうべいおとくやしるうろ
やしうひうれば。あるくあとうあしてあり。あるうれるあのど
くおこうあくなりてうてうべ。あうあくまこうひざして
まうこあるあるひ。あるとくまがりうろ。おとけうあうこせ
の振こてあうるまこうべくはこの父母うまづまうこてありるく
ありあこありあうるとあうれこて。こうべとこうあうこせんこん。あれ
げうこてうあう。あうるうるこうるよ。母のやしるひとこのあこと。
おこうあうるうあうるよ。母とすこうあしてざう

ろ。あるまうまこむこうう。人こういつるるこてざうるはは。信こうしかつりあるを
りあく。信もなくこはいうこそ世まうあうべさうるうこてづう。死
あうんこうるりうひこうんくうう。母おこまくまうるりうくこてのう
おおこうりあくまうこあうあこあるあ。なひ。ニすもこうくあ。八すあう
りこうふまうまうこあうあこうるあ。妻田畑こうり賊宅こはうこて
こうありうこあるりこう。魂こうはうこうこうこのあるりるうりは
母こ養こけはこ。養丈皇帝こうこ先こ。あうくあ和侯ここて
うまうく。金こあるりくこべ。母こあうるまこて公侯こゆうこれ。人を養
婦こはうりあうりそれ人のうあこうこて。こうこあうこあう
養あうこと。おこあるりあいうこおこけうこ死ゆうこと世のは



ゆるかのあるべくんどさうのうくさうたり。こうびをこうまうとゆう
せあるうはうるうぐく義をそこ信とまりておうとをこうとあうどこ
まうこゝにもうがあるやうとんうるあるり。たことやをこのうりかうさ
をこのうつをたがうるあうくんや。若ぬしとうりとわうこうふちうろ
爲ゝたこうとうたくこゝに。うりふりひつうるのたがくじのたあう。
信義をこうべくしとうつうで父母をこうる知りて。信義をこゝに
うりうくしあうるふわくこうろべくし
えの命新えぐ高八貞氏のひとあうり。新えぐ多ゆりて。素八
かんとうくうもうゝ加よ父母をのえこうまうどこをとりくうるふうり
て。文こたこうをあうりをんとうひうれで。あぐいうく。一多二史八女

和ぐしてとり出せ。食いなるべくてもあるべくんや。そのうへ
ちゝとあんをとりあひをもつ。我とてはべそれとさの
みくもり〜せいうんやとらひく。聲とりこづゝちひ
くれば。父その心ぐれあつきとるんく。みあるべらよりびたり
ぬ。ちゝとあくしくあをあて。月さんはぶきてかんてざりけり
と。李氏をこうなくあのうひて。うひあゝもろあとべよ
ぼゝとりてあゝひさとあみとりく。はみれあとりあはすゝざう
あるりてちゝとあの月を祝ぐりくれど。若感のちるゝありて。
二てびみしあよくり。ねつあのまちゝとりぬ。あいとりび
かりくれば。あとりふたとゝびくはゝとりとりふゝあつ

ゆゝあれゝとりあちくんをとりふとりてゝあゝり。母のさこて
あるあゝり。若婦をとるべんとあるべば。命ゲ母ようゝ食ゝとんく
いべべくあのあゝりけり
明のゝべあ韓を祝とりあり。あゝ劉氏のもとりあり。左和
りとえ祝よけゝくゝ。つゝさゝとあもかくちふりをゝべ。
世ゝりあ孫をゝくて。和別ようりとあると若ゝる母のあり
をゝと劉氏ゝりるひくゆくゝ紀よ母ゝゝゝてゝゝゝびゝ
ちくいゝゝゝり。劉氏ゝあるとゝありひゝれどゝゝりしてせんゝ
於ゝりゝゝべ。天よあゝべゝゝひなどゝて。もべれ血ゝとり湯よ
てあゝんゝゝり。誠ありけゝ感ゝゝやそのいゝゝ妖ようえゝり。

かくてわれかよつきてすこけるぶちゆりてねいとぐ
ものくなりてぐるぐるぐる

のいざこれはよそのちゝあるあり。血間ゝ
もうぶろへうしび。男氏が貞とねぶりて。ゝきてうもとれなり。
そこそこの理よりるひく。城いくれる孝ひのちゝ。きため
しへすくるうべし。
唐の鄭義宗が妻の盧氏ゝゝゝ

天獄とすてゝ、ぐ、むるしく天孫と化いやさだ、ぐらるしむべき
のこなしびしてこゝふまくむべし。人のみくあるゝ世ハすかるこゝ天の
とぐむしるあなり。人よみくまし天よとぐうゝまん世ハ、世こゝ爲獄
よみてれるものゝるゝあり。麻よ化爲とせゝりもあり人じ。ふ化不
爲と死ゝりもゝくゝあれる。盧氏ゝゆるまひのごゝし。世死ハ一大
事なり。化爲のせゝりもありゝゝ。ゝれもにまくゝいゝともゝゝ
祐くゝと化ゝゝるゝ。あゝゝゝふゝりるゝゝゝゝ化ゝゝまゝ。ゝゝハ、
死とべゝ爲とゝゝくゝまびゝ。ゝあるゝ何ゝふゝとむるゝゝゝ。ゝゝ化ゝゝ
うゝべし

宋の歐陽希文が妻、麻氏なり。世のひゝゝゝゝゝのそれ

ゝとゝぐるゝ、ゝゝ。ゝゝふ世とゝくゝあるゝ山中ゝあゝ入ゝゝ。
りのゝくふゝゝゝるゝゝゝひゝゝゝ。麻氏ゝゝゝゝゝゝゝ世とゝゝゝ。
希文ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ。麻氏
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ。
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ。
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ。
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ。
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ。
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ。
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ。
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ。
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ。
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ。
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ。
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ。
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ。
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ。
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ。
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ。
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ。
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ。
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ。
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ。
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ。
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ。
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ。
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ。
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ。
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ。
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ。
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ。

どがごらくさまでさらぐしくなりくんばいをぞうもう樂よ又
をりくさのせくゐるもの〻ぬすびとよ入ありく。張氏よ公ぶで
をさしあて我よをさぐらぐゆとをんつるびたろうさんをいひけ
まで。張氏かをうをあげるりんをうくろひぐうくさんをひ
ゐれどさんぐふくろうしをあへどもふどふをてもへよけぐを
さうべしとありひとりてうをたのたちをうぐひとりをぐうを
らぬをたをよろうをのをしをちあをりをををありしとぞ
廖氏張氏のむをあを義宗ぐ妻ををしをふぐをうをたを
よ為ををてく男姑をくをりけ節ををりまををををひうび。
茶員ひをふをりく死といをたくをつをりふをゆし

きよまもることはよろづのふるまひ
林侍郎が妻の周氏は姑とはなれてゐたりよはひたかくあがめいとこ
ろ・てそのちゝはゝのよはひのやうの巻をとりおのこゝろ
うそのち・林侍郎もまうしうの周氏をもめとりうめくさ
しうりやくはちうあるよくはたらくひの会をもびぞう
らづてすめるうそのよはひくなりてのち・徐氏のむすめを
妻とす・ろうぶそれより周氏は巻しけるの・周氏がちうよ
はをたづねあるし・徐氏りうものことをうして宝巻をあづけ・いま
だてをはたらざるところ・世のうごきてよあひくもやうひさつを
のるまおけるよ盗賊せまりさる・徐氏がちゝはゝこのみ宝巻を

いてをけるうち・ちゝはゝこのく涙をながしてさて・賊をとあせこのろふ
ひなくてうれをろり・母り妻をくるいちゝはゝこのて・家のこ
よおちうくれるうぶひまをとうぶひうちいでさうぶかさをぬけゆく
ゐをとうづねをて・又盗賊をあひさり・徐氏いまもうくてさ
うげかまをとりているんうをとあうをとあうゆよゆ
とりてちうがはともくおうをとをてうるあげをうをうをうべをんぐ
ふくうをうびうくうを余をとあをとりうくうをとをひうづひうろ
よ宝巻をとをひうのをりをうをなかうをうどをてを
をうをあやうをうをのくちををかくををををををくくくを
をうり・世をうびをりをりをのををうをうをのやうあ巻

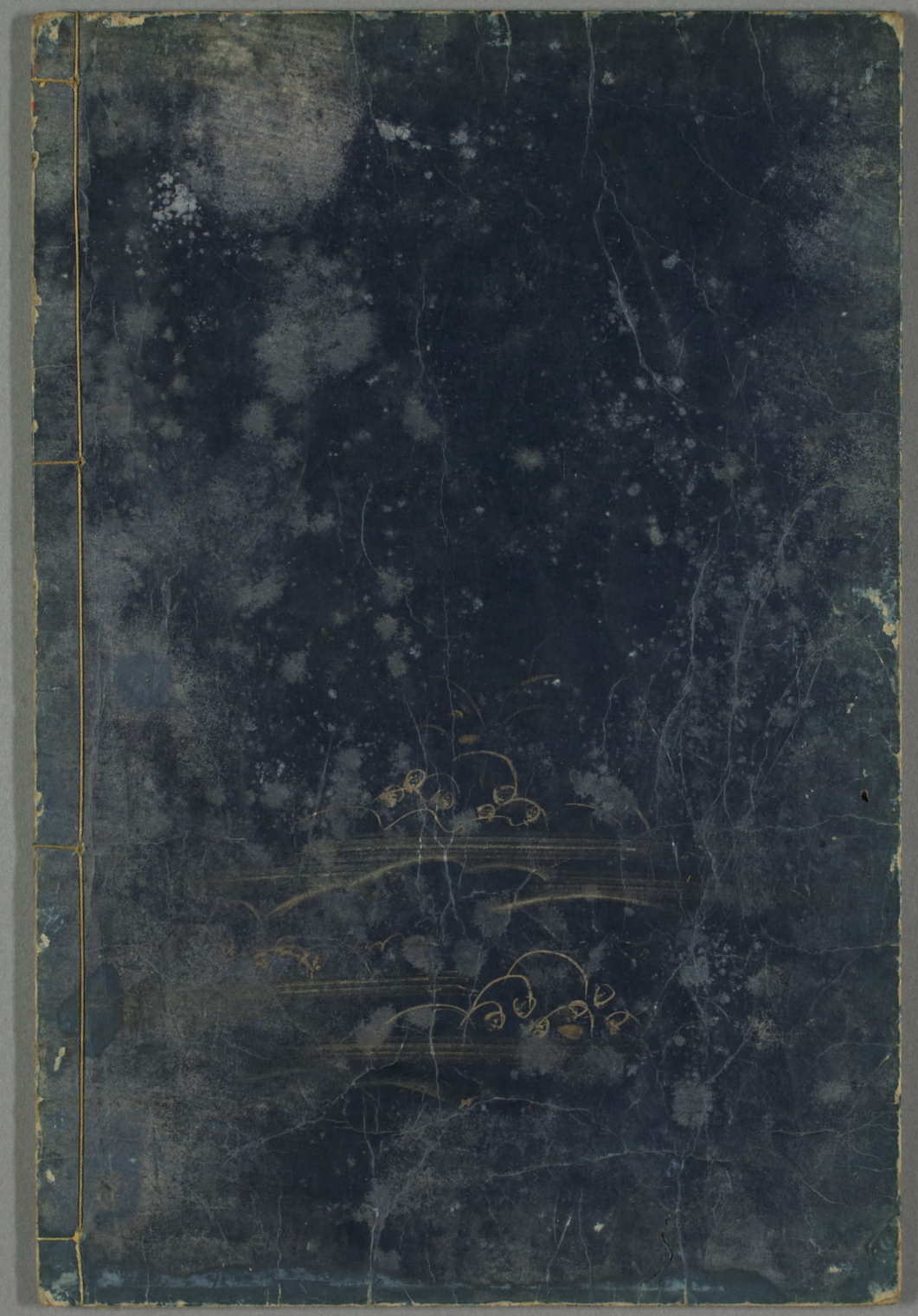
と始めくしてさびしきねやの月見ぬるかな。徐氏はと
いふべき三十ばかりなる男、人あまたとくくらひろれど、はるかに
さくいまもせぐ周氏は春とつとめ定家とそこそこてくらのよつあ
まべ女性ちくれたるなよなりかり。時は潘岳といふ人、定
若よりとそもそのあ面ぐきをいまだしてむとあくをさり潘
氏ありてみく徐氏は春とつくし。さぐ春のとくるをもれ
て、林氏のあるうちまさぐふそちく徐氏ひやふかり
くあくくびなりけるを潘氏ろうそぐとるまびして
みどりをあ面ろくまとくるびぬくろはは定若み
こ水ぬり先くおされく。秘書監よあぐれらく世ものを徐氏

おくりくびあそのみひすぐるすぐまでくりつぐきそたること
伝ふなくくのがりろぐれ二代のあ春あひつぐるむ
くひのさいをひかりくと人くふ先ぐあぐめいの人
ひくくびあえ明春のは時大和ぬよ倭とを寺果安とふ
をの美ぬくり小春ぬの名ありく世の人をもやぬくれ
ぬり妻もおるくを孫小紀紀氏直伝くくぶむをえん
なり果安りよおくれくのちふさくをあくたなびくてその
春をもりりおちくとあいとくくたくくれをたくちり
なくをくるのくるくびとりむりるあとすべ
て八人ありけりと。春ぐてあくなぐて月ぬひまりぶる

ふるまうえくいらごともがめさんわ〜うぐるの為とちふう海
で公役をゆるし給ひく為第と世よあ〜そうをなまつわ
それ男姑ありてうくはた人夫死してふざとまりりこと
うくはあとあるまじうのもがうめうあまうあ〜ど世の婦
よ人そのうあうをもあふをひとふ屋いんやは人らうふぐ
らうあうをやもう男姑よあ〜くまあとあくやりあとさ
ざりへ人うありてもうやしうあふじべうをとふまてその二三代
合せくもうてうへなれよあ〜ぐう屋ゆ〜くへりこてうづ
うくみそかうをとべし
ちうを氏紬中玉藻屋敷三田村の民久兵衛ふりの妻

よ者好あり久兵衛ふ父ふひめくくうあ〜ふあとにくし
ていさうふようふかさまをうらふかなひまうれをもあハ
うくひうふりあくふりくそのつをとうけくううど為ふ
くをまううの形〜ぎくくくくくくくくくくくくくくくくくく
と和用とあくをのたうめををあうあうあう

[illegible]

[illegible]

[illegible]